

## 式 辞

本日ここに、新生上田市発足三周年記念式典を挙行いたしましたところ、国会議員の皆様をはじめ、多数の御来賓並びに市民の皆様の御臨席を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

さて、平成一八年三月六日に旧上田市、丸子町、真田町、そして武石村の四市町村が合併し、人口約一六万人、面積五百五十二平方キロメートルの、東信のみならず長野県の中核都市となる新生上田市が発足し、三年半が経過しようとしております。

顧みますと、平成十一年四月から始まりましたいわゆる「平成の大合併」により、かつては全国で三千二百を超えた市町村が千七百七十余に減少し、長野県におきましても、市町村がかつての百二十から八十に再編されました。

今日の我が国は、人口減少社会の到来を迎え、世界的にも経験のない急速な少子・高齢化社会への一途を

たどっており、大きな変革期を迎えております。従来の社会、経済、行政などの改革が求められる中、地方自治制度においても市町村合併をはじめとする地方分権の推進に伴う諸改革など、地方自治体にとって重要な転換期にあります。

私は、平成十四年の旧上田市長就任以来、このような激動と変革の時代にあって、この大きな変化をチャンスと捉え、更には明るく希望に満ちた「上田新時代」を創りたいという考えのもと、地域の持続的発展を願い、市町村合併の舵取りを担ってまいりました。

そして、合併が実現して以降は、市民の皆様に、合併して良かったと実感していただけるよう四地域の特色を引き継ぎ、活かした施策展開に努めるとともに、「新市の一体感の醸成」と「上田の活力、魅力アップ」を図るため、合併のスケールメリットを活かしながら全力で市政経営に取り組んでまいりました。

そして今後は、大きな可能性を持ったこの豊かな郷土を更に発展させ、次の時代に引き継ぐことが私共に

課せられた責務であると考えております。

こうした中、私はかねがね申し上げておりますが、合併からこれまでの三年間を新生上田市の「揺籃期」とするならば、今年には合併三周年を迎え、いよいよ新生上田市が力強く歩み出す「成長・発展期」という新たなステージに向けて施策展開を図っていく時期に入ったと考えております。

このステージにおきましても、「市民が主役のまちづくり」とともに、現下の経済状況を踏まえ、市民負担の軽減に最大限配慮した「生活者支援」という視点も大切にしながら、誰もが住み良さを実感できる「生活快適都市 上田」の実現を目指し積極的な施策展開を図ってまいります。

それでは、この場をお借りして、市として重点的に取り組む事業等について申し上げたいと存じます。

まず、第一に、行財政運営の基本姿勢である「生活者起点」と「地域経営」に立脚した施策を進める上で、住民により近いところで意思決定がなされる仕組み

など、これまでの分権型自治の取組を更に進化させていくことが重要であると考えており、新市発足以来地域協議会の設置、まちづくりの拠点としての地域自治センター機能の充実、また、住民の皆様が自ら考え、行動して、地域の個性が光り輝くまちづくりを支援するために平成二十年度から「わがまち魅力アップ応援事業」を創設するなど「地域予算」の導入も図ってまいりました。

今後は、住民自治、まちづくりなどの自治体運営の基本原則である「自治基本条例」の制定を進めてまいりたいと考えております。

第二に、将来を担う子どもたちを安心して生み育てられる地域医療体制の再構築に向けては、医師及び助産師の確保など、今後とも困難な状況が続くものと予想されますが、本日御列席の来賓並びに市民の皆様のお力をお借りしながら安心してお産と子育てができる環境づくりに全身全霊をかけて取組んでまいりたい決意でありますので、更なる御支援と御協力をお願いいたします。

たします。

第三に、低迷する地域経済が現状を克服し、回復から再活性化に向うよう離職者や生活弱者に対する支援や公共事業による地域経済の下支え、円滑な資金調達などの支援を積極的に進めてまいります。

第四に、長野県の中核都市として、東信の母都市として、産業振興と交流人口の拡大を図り、その顔となる中心市街地の活性化と交流の核となる交流・文化施設の整備を進めてまいります。

第五に、急速に進む少子・高齢化、昨年秋以降の急激な景気後退、また政権交代など、新生「上田市」を取り巻く環境は大きく変化しております。こうした社会情勢の変化に適切な対応をするとともに、将来にわたり成長・発展を持続していくためには、中長期的展望に立った行財政基盤の構築に向けた取組みが重要であると考えており、今後も行財政改革を鋭意進めてまいります。

ただ今申し上げました五つの施策のほかにも、市が進めるべきものは数多くございます。今後につきましても、市民の皆様に輝かしい未来の姿を示しながら、前向きな姿勢で市政経営に邁進してまいります。

また、この記念すべき三周年の節目の年に、先人たちが培ってきた貴重な地域資源を基に、新たな魅力を再発見する事業等を積極的に推進することにより、ふるさとに「自信」と「誇り」を持ち、市民との協働による「元気で活力に満ちた上田市の創造」の取組を更に進め、この意義ある年を、次のまちづくりに繋げる年にしてまいりたいと考えております。

さて、本日は、新生上田市発足三周年記念式典に当たり これまで地球規模での平和の集いを開催するなど世界平和に多大な貢献をされております半田孝淳天台座主に「上田市名誉市民」の称号をお贈りするとともに、本市の発展にそれぞれの分野で御貢献をいただき、かつ市民の模範となる御活躍をされている方々

をお招きし、表彰申し上げ、感謝の心をお伝えいたし  
たいと存じます。

受賞者の皆様の御功績に対しまして、心からの敬意  
を表しますとともに、深く感謝を申し上げる次第でござ  
います。

今後とも、市民の皆様との協働による まちづくり  
を基本に、更なる上田市発展のためにリーダーシップを  
発揮して取組んでまいりますので、どうぞよろしくお  
願い申し上げます。

結びに当たりまして、本日御臨席賜りました皆様の  
益々の御健勝と御多幸を心から御祈念申し上げ式辞  
といたします。

平成二十一年十一月二十三日

上田市長 母 袋 創 一